

バイオクライマティックデザイン小委員会 2007 年度 第 4 回 議事録

- A. 日時： 2008 年 1 月 31 日（木）17:00～19:00
場所： 建築会館会議室
- B. 出席者： 須永修通（首都大学東京）、宿谷昌則（武蔵工業大学）、鈴木康司（OM 計画）、
吉野博（東北大学）、長谷川兼一（秋田県立大学）、斉藤雅也（札幌市立大学）、
宇野朋子（東京文化財研究所）、鈴木信恵（武蔵工業大学）、徳永佳代（武蔵工業大学）、
廣谷純子（オーガニックテーブル（株））、
菅原正則（宮城教育大学／電子会議システム利用）
11 名（敬称略、順不同）
- C. 資料： 07-4-0 バイオクライマティックデザイン小委員会 第 3 回 議事録（案）：宇野
07-4-1 出版に向けて メモ：長谷川
07-4-2 バイオクライマティックデザインブック作成準備 WG 設置申請書：長谷川
07-4-3 魅力ある本の出版にむけて（案）：斉藤
07-4-4 Self-Discovery Tour of the Natural Library：須永
07-4-5 今こそ「おもしろい」「もったいない」を考えて、
太陽熱の利用の OM ソーラーシステム（朝日新聞記事）：鈴木
07-4-6 空気集熱式ソーラー除湿涼房システム：鈴木
- D. 審議事項：
1. 前回議事録確認
修正 1 ヶ所：事例紹介「小学校」→「中学校」
 2. 出版に関して
バイオクライマティックデザインブック作成準備 WG メンバー
 - ・ WG 主査：長谷川、幹事：斉藤
 - ・ メンバー：廣谷、須永、鈴木、宇野進め方
少人数で内容を固める。
日程
2007 年度：事例収集、リスト作成、検討（ML でフォロー）
2008 年度（夏季・冬季）：事例の見学。設計者・ユーザーとの意見交換。
2008 年度（1～3 月）：原稿作成。
2009 年度（4 月）：出版？
もしくは、2010 年度に出版を目指して調整する。

出版方法

本の構成が決まった時点で、学会から直接出版するか外部の出版社に依頼するのかを検討する。

ターゲット

- ・ **これから環境建築に携わる人**
- ・ 地方公共団体、学校・教育委員会、教員に活用してもらえるものに。参考書。
- ・ 環境建築を実際に作りたい人（行政、専門家）

コンテンツ

- ・ 「技術本←・→敷居の低い本」においては、できるだけ敷居の低い本が相応しい。
- ・ 地域性：地域のポテンシャルについて、どう取り入れるか？（町おこし、観光とのタイアップ）
- ・ パッシブ手法の原理原則（論）の説明
- ・ メリットの分かるもの（CASBEE、COST）（初期投資、メンテナンス）
- ・ 測定データを提示することによって信頼性をあげる
- ・ コラム（生活者の声を載せる）

出版後のフォロー

- ・ HP の立ち上げ、相談、コンサル紹介などサポートができる体制が望ましい。
- ・ 地方での講演会を実施したい。

E. 話題提供：次回に回します。

F. 次回委員会の予定：

日時：2008年3月11日（火）17:00～19:00

場所：建築会館

内容：出版に取り上げる事例の持ち寄りとランク付け

文責：宇野朋子 2008年3月10日
加筆・修正：斉藤雅也 2008年3月12日